

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® A30

5.5Lの反応器を
+20°Cから-20°Cの間で冷却・加熱



目的

本ケーススタディーでは、PRESTO A30の加熱及び冷却能力を5.5Lの反応器でテストしました。A30は1mのメタルチューブ2本で接続、+20°Cから-20°Cを繰り返すようにプログラムされています。

テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A30
冷却能力	+20°C 0.5kW
	0°C 0.4kW
	-20°C 0.2kW
加熱能力	2.7kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.31bar
循環液	ユラボ サーマルHL45
反応器	5.5Lガラス反応器 (Bruno Kummer)
	5LのサーマルHL45を充填
温度制御	外部温度制御 (ICC)

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz



テスト結果

次ページグラフ参照: A30の加熱プロセスは-20°Cから+20°Cまで1時間でオーバーシュートすることなく到達しました。冷却プロセスは+20°Cから-20°Cまで1時間15分でオーバーシュートすることなく到達しました。

情報

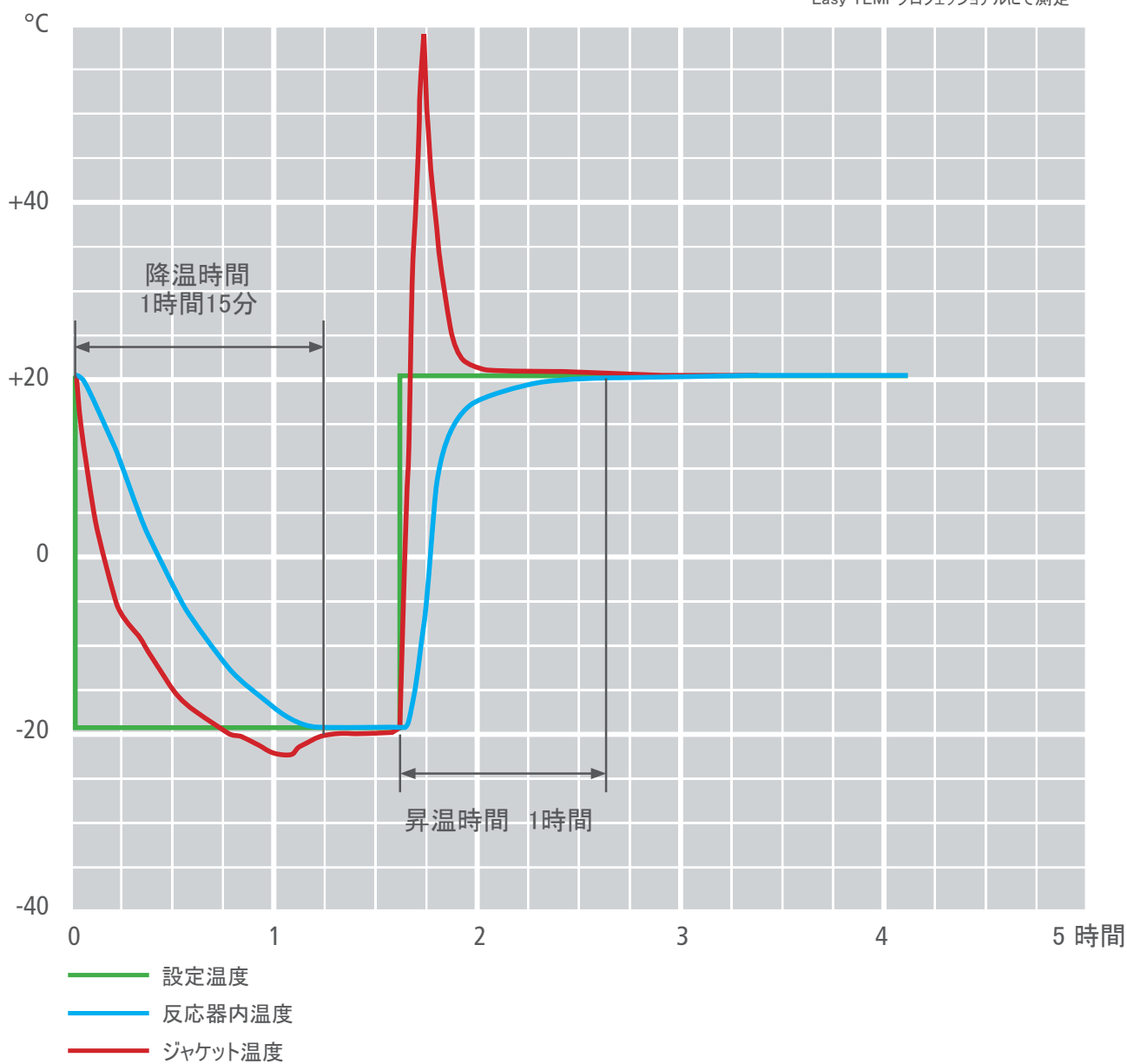
90° エルボー
フィッティングが
ガラスリアクターへの
負荷を軽減します。

次のページにも
情報が載っています。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0

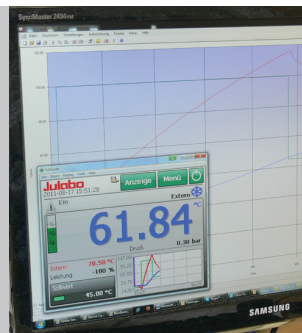
Easy TEMPプロフェッショナルにて測定

**情報**

PTFEコーティング
されたPt100
温度センサーが
使用可能です。

**情報**

PRESTOの全ての
機能をイーサネット
インターフェースにて
操作する事が
可能です。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0